



平成 19 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 日 本 ラ イ ト ン 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 遠 藤 榮 之 進  
( コード番号 2703 )  
問 い 合 わ せ 先 常 務 取 締 役 松 田 憲 明  
( TEL 03-3239-6788 )

個別業績予想の修正及び営業外損益の発生に関するお知らせ

平成 18 年 12 月 期 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日) の個別業績予想について、平成 18 年 8 月 14 日付当社「平成 18 年 12 月 期 個別中間財務諸表の概要」にて発表いたしました通期の業績予想の修正及び営業外損益の発生についてお知らせします。

記

1. 平成 18 年 12 月 期 通 期 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平成 18 年 1 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	37,100	271	111
今回修正予想 (B)	34,490	365	115
増減額 (B-A)	△2,610	94	4
増減率 (%)	△7.0	34.7	3.6
(ご参考) 前期実績 (平成 17 年 12 月 期)	34,405	607	350

2. 修正の理由

売上高につきましては、EMS 関連事業は引き続き好調だったものの、情報通信関連事業のパソコン向け液晶モニターの販売が伸び悩んだため当初計画を下回りました。

利益面につきましては、長期滞留在庫を商品評価損として 75 百万円計上した反面、円安局面により下半期にて為替差益が 1 億 75 百万円発生したため、経常利益は公表値 34.7%増の 3 億 65 百万円となりました。

当期純利益につきましては、経常利益は増加したものの前期売上高の修正に伴う過年度損益修正損 36 百万円、たな卸資産処分損 22 百万円を計上した結果、3.6%増の 1 億 15 百万円となりました。

以上